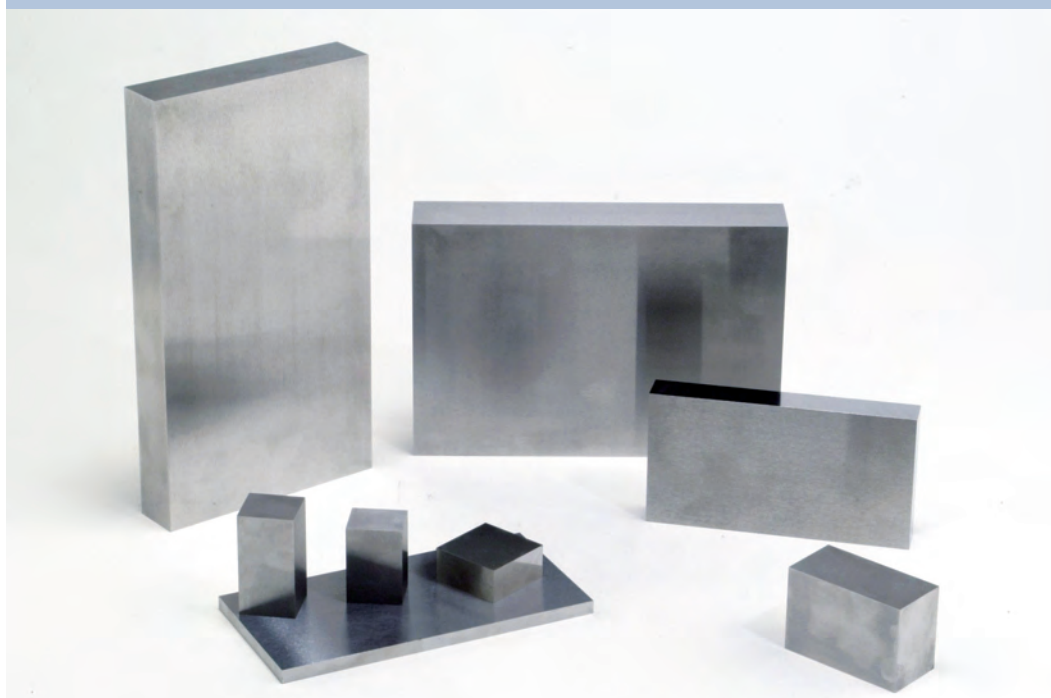


株式会社 越智製作所

産業を下支えする金属プレートの
プロフェッショナル

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



小物から大物まで取りそろえる金属プレート

業務内容
特殊鋼を中心に幅広く
金属プレートを提供

昭和58年8月に、現社長の父である越智信盛氏とその兄で、他社の一部を間借りし、前身となる「三信製作所」を創業。現在、生産拠点は5工場に拡大し、金型・機械装置・自動車部品・切削工具等の母材となる金属プレートを提供する。また、単なる金属プレートだけでなく、顧客の負担が減るようにあらかじめ下処理を行った高精度の製品も提供する。普通鋼・特殊鋼・ステンレスなど提供できる鋼種は現在50種近くに上り、大手特殊鋼メーカーとの連携を強化することで特に特殊鋼の充実を図っている。

その他の素材についても各メーカーと密にコンタクトを取っており、顧客のニーズに的確に込えている。

強み
独自の加工機で効率化と
高付加価値化を実現

標準品の取り扱いが多い同業他社に比べ、付加価値の高い特注品に生産を集中させ利益を確保しやすい事業構造をとる。また納期短縮や作業コストの削減を目指して、同社独自の両面加工専用機を使用している。通常は鋼材の上下面を片面ずつ切削加工し、表面の平行を出すのが、それでは歪みが出てしまい両面を加工した後に再度歪みを矯正する工程が必要となる。そこで両面同時に加工できる独自の加工機を使用することで歪みを抑え、従来の3工程を1工程で処理することで作業の効率化と高付加価値化を図っている。

生産管理
拠点の能力把握で
効率的な生産

現在、同社は関連会社も含め、大阪府内



生駒工場外観



独自の両面加工専用機

2拠点と、奈良県生駒市、福岡県北九州市、愛知県大府市の計5拠点を生産を行っている。各拠点の生産能力の適時把握を行うことで、顧客からの要望に対応可能な拠点到加工を割り振り、効率的な生産を行っている。

また、資材管理システムにも力を入れている。金属加工業では指定された鋼種を間違えることは許されない。そこで同社はX線分析装置で鋼種を機械的に識別し、鋼材に鋼種を刻印およびメーカーで色分けすることでヒューマンエラー防止に努めている。

今後の展望
3本の新規事業
立ち上げを目指す

自動車のEV（電気自動車）化では新たに金属以外の素材が多く使用されている。このような産業構造の変化に対応できるように計画的な設備投資を行っていく。生産体制においてはロボット化も目指していく。「AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）、ビッグデータなどの新技術を活用していきたい」と越智一禎社長は品質向上、効率化に向けた生産改善に余念がない。

設備投資だけでなく、社員育成も重要であると考え、社員のキャリアアップを積極的に支援していく。また、まだ先の話になるが、会社を支える新規事業を3本立ち上げたい」と将来を見据える。

当社の歴史



昭和58年の創業当時は2名からのスタートでした。大阪府門真市の四宮工場にて操業を開始したときには従業員12名まで増えました。景気の好不況に流されることなく適切に対応し、現在では大阪・奈良・名古屋・九州と生産拠点も増え、従業員100名の企業となっております。

代表取締役 越智 一禎さん

<http://ochi-ss.co.jp/>

主な事業内容

金属プレートの製造・販売

主な取引先(納入先)

大同DMソリューション(株)、
ウメトク(株)、白銅(株)、
ボーラー・ウッドホルム(株)

●住所

〒571-0017
門真市
四宮4-3-8

●TEL 072-882-5523
●FAX 072-882-5532
●創業 昭和58年8月
●設立 昭和59年3月
●資本金 3,000万円
●従業員 100名